

# 平成 16 年度陸域環境研究センター施設利用状況

(平成 17 年 3 月 31 日現在)

	教育関係		研究関係	
学 群	地形プロセス学・同実験（自然学類）	30 名×6 回	卒業研究利用者	
	地球科学実験Ⅲ（自然学類）	30 名×2 回	自然学類	5 名
	〃	60 名×2 回	自然学類（工作室のみ）	3 名
	気候学・気象学実験（自然学類）	25 名×3 回		
	〃	20 名×2 回		
	水文学実験（自然学類）	27 名×7 回		
	〃	20 名×3 回		
	流域水文学（自然学類）	4 名×1 回		
	植物生態学実験（生物学類）	14 名×1 回		
	水資源利用学実験（生物資源学類）	10 名×5 回		
大 学 院	計測制御工学実験（生物資源学類）	40 名×1 回		
	合計（延）数	832 名	合計（延）数	8 名
	地学教育実験（教育研究科）	8 名×1 回	生命環境科学研究科	8 名
	地域調査法（教育研究科）	10 名×2 回	生命環境科学研究科（工作室のみ）	1 名
	〃	13 名×5 回	環境科学研究科	3 名
	自然地理学特講（教育研究科）	5 名×1 回	環境科学研究科（工作室のみ）	1 名
教 職 員	実習（環境科学研究科）	30 名×1 回	教育研究科	2 名
	合計（延）数	128 名	合計（延）数	15 名
	学生の指導	57 名	陸域環境研究センター	9 名
			生命環境科学研究科（地球環境科学専攻）	2 名
			農林工学系	1 名
他 大 学 等			生物科学系	2 名
			人間総合科学研究科（体育科学専攻）	1 名
	合計（延）数	57 名	合計（延）数	15 名
			名古屋大学地球水循環研究センター	1 名
			立正大学地球環境科学研究科	1 名
			滋賀県立大学環境科学研究科	1 名
			東邦大学植物生態学研究室	1 名
			国立科学博物館	1 名
			米国地質調査所	28 名
			韓国建国大学生命科学科	1 名
			韓国大邱カソリック大学	1 名
			エンテック株式会社	50 名
そ の 他			英弘精機株式会社	2 名
	研究会・年次報告会	3 回 参加者		
	セミナー	13 回 参加者		
	機器の利用			
	データの利用			
	見学者			
	国内			258 名
利 用 者 合 計	国外			10 名
	利用者合計			1,993 名

## 主 な 行 事

年 月 日	記 事
2004. 4. 1	渡来 靖準研究員着任
2004. 4.17	科学技術週間・センターの一般公開
2004. 4.27 ～ 28	飯島英夫技術専門職員 有機溶剤作業主任者技能講習受講
2004. 5. 7	筑波大学附属高校見学 (20 名)
2004. 6	平成 17 年度概算要求(研究推進経費、拠点形成経費、特別支援事業経費)提出
2004. 6	センター利用内規の作成
2004. 6. 7	福島県成蹊高校見学 (46 名)
2004. 6. 8	山形県米沢中央高校見学 (30 名)
2004. 6.14	平成 16 年度第 1 回運営委員会開催
2004. 6.21	高山茂美名誉教授他見学 (13 名)
2004. 6.28	青森県六ヶ所村(財)環境科学研究所見学 (1 名)
2004. 7.20 ～ 21	データ集録室エアコンの更新工事
2004. 7.27 ～ 28	Web サーバーの更新
2004. 8. 5	長崎県諫早高校見学 (40 名)
2004. 8. 6	自然学類体験学習
2004. 8.12	埼玉県浦和第一女子高校見学 (3 名)
2004. 9.13 ～ 15	圃場整備(草刈)
2004.10.13	鳥取県鳥取東高校見学 (11 名)
2004.11.9 ～ 11	RAISE 国際ワークショップ本学にて開催
2004.11.11	RAISE 参加モンゴル国研究者見学 (6 名)
2004.11.15	平成 18 年度概算要求(組織整備計画、研究推進経費、特別支援事業経費、施設整備費)提出
2004.12.16 ～ 17	圃場整備(草刈)
2005.1.11 ～ 31	米国地質調査所との共同実験
2005.1.26 ～ 28	超音波風向風速計の定期点検実施(カイジョウ)
2005.2	「陸域環境研究センター報告第 5 号」発行
2005.2	(株)エン・テクとの共同実験
2005. 2.22	チュニジア国研究者(Ministry Scientific Research)見学(1 名)
2005.2.24	近藤純正東北大名誉教授及び都立大学教員見学(3 名)
2005.3.3	平成 16 年度陸域環境研究センター年次研究報告会開催
2005.3.4	池田 宏助教授最終講義・実験観察会(75 名)及び退職記念会
2005.3.5	実験観察会(105 名)
2005.3.8	平成 16 年度第 2 回運営委員会開催
2005.3.22	圃場観測機器の定期点検実施(クリマテック)
2005.3.22 ～ 23	房総半島巡検
2005.3.31	池田 宏助教授 定年退職
2005.3.31	濱田洋平研究機関研究員 退職(4 月 1 日付け、及川研プロジェクト PD)
2005.3.31	塩澤暁子研究支援推進員 退職

## 陸域環境研究センター 熱収支・水収支観測資料について

下記の表は学内外の利用希望者に対する利用できるデータの種類、収録期間、メディアの種類、利用方法を示す。利用希望者は、データ利用願い (<http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/new/use/use.html#4>) を記入の上センター宛提出されたい。

データの種類	収録期間	メディア	利用方法
1 時間ごとの全測定項目および、日平値（または日積算）値・日最小値・日最大値が入った月ごとのアスキーファイル	1981 年 /11 月～現在	陸域環境研究センターのホームページ	<p>陸域環境研究センターのホームページ (<a href="http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/">http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/</a>) の TERC 熱収支・水収支観測データベース (<a href="http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/Japanese/database.html">http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/Japanese/database.html</a>) にアクセスする。</p> <p>●月ごとのデータは、(<a href="http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/monthly/">http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/monthly/</a>) に保存されており、ファイル名のつけ方は次の通りである。Dyy-mm.DAT、yy は年、mm は月を表している。例えば、2002 年 4 月のデータは、D02-04.DAT である。</p> <p>●年ごとに圧縮されたデータは、(<a href="http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/yearly/">http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/yearly/</a>) に保存されている。圧縮形式は lzh 形式または tar + gzip 形式である。</p>
上記データのプリントアウト	1983 年 /7 月～2003 年 /3 月	冊子体 (3 枚 /1 日) 一冊 /3 ヶ月	コピーをとるか (*), 写し取り, 利用する。または貸し出しを行うので (一週間まで) 持ち帰って利用する。
測定項目ごとの 1 時間ごとのプリントアウト	1989 年 /1 月～利用時の 1-2 年前	冊子体 1 枚 /1 月	同上
各項目の日平均値のプリントアウト	1989 年 /1 月～利用時の 1-2 年前	冊子体 (センター報告) 1 ページ 1 年	同上
各項目のアナログ出力を記録したチャート	1980 年 /1 月～2003 年 /3 月	チャート 一冊 /1 月	コピーをとるか (*) センター内で読み取る。

(\*) センターのコピー機を使う場合、学生用コピーカードを使用し、何枚使用したかを記録用ノートに記入する（教職員の場合は本人あてに、学生の場合は指導教員あてに利用額が後ほどセンターから請求される）。

## 筑波大学陸域環境研究センター出版物 の著作権について

1. 筑波大学陸域環境研究センター報告等に掲載されたすべての報文等（以下、報文等と称する）の著作権は筑波大学陸域環境研究センター（以下、本センターと称する）に帰属する。
2. 本センターの出版物に掲載された報文等の全部あるいは一部を他の出版物に転載、翻訳、あるいはその他のために利用する場合には、本センターに文書による利用許諾を得た上で、出所明示して利用しなければならない。
3. ただし、学説の展開、および教育目的の著作の中で、本センターの出版物に掲載された報文等の一部を出所明示の上で引用する場合には、前項にかかわらず利用許諾の申請は不要とする。